

心と心の草の根交流 台湾地震お見舞いメッセージ

～古賀市のこどもたちから台湾のみなさんへ～

本市は従来から、こどもたちの国際感覚の醸成につなげるため、台湾との草の根交流を続けています。

心と心の草の根交流を続けてきた台湾で発生した、令和6年4月3日の地震。古賀市のこどもたちからお見舞いと応援の気持ちを台湾のみなさんに届けます。

■古賀市の子どもたちと台湾との草の根交流

- ①令和3年6月に日本政府が新型コロナワクチンを供給したお礼として、台湾から日本にマスクが寄贈された際、古賀市に1万6000枚のマスクが届いた。同年10月には、花鶴小学校で「日台友好マスク寄贈式」を実施、修学旅行に出発する小学6年生・中学2年生、そして受験を控えた中学3年生などを対象に配布。
- ②マスクをもらった子どもたちから「台湾の人たちにお礼の気持ちを伝えたい！」と声があがり、各学校でお礼の寄せ書きなどを作成し、令和4年1月に「日台友好マスク感謝の気持ちを伝える会」を開催。
- ③台湾の食文化理解のため、公益活動の一環として「台湾バナナ」を古賀市の小学校に寄贈したいと、学校法人神戸学園より申し出があり、令和4年10月に蒋惠萍神戸学園総長一行、陳銘俊総領事一行を招き「台湾バナナ日台友好交流会」を開催。



■内容等

市内児童センター等（青柳児童センター・千鳥児童センター・ししぶ児童センター・隣保館）にパネルやメッセージカード、折り紙を設置し、施設に通う子どもたちが書いたメッセージを7月3日（水）にまちづくり推進課が台北駐福岡経済文化弁事処へ届ける予定です。



【イメージ】

■設置期間 5月15日（水）から6月28日（金）まで

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係
担当：飯尾・八木 電話：092-942-1165